

### プロジェクトの概要

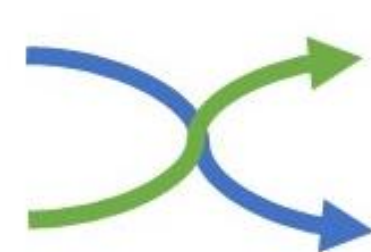
本プロジェクトは、地域に根ざした食の探究を通じて、人と環境の双方の「健康」を目指すプラネタリーヘルスの実践にむけた学びと発信を、地域の人々と共に行うものです。地域創生において、食は重要なテーマの一つであり、「食で地域を元気に」というスローガンも聞かれます。食が人の健康だけでなく、地域・環境を健康にするという考えは、人と地球環境の健康を切り離さずに考えるプラネタリーヘルスの概念にも通ずるものです。地域固有の食文化や伝統知を、地域の人々と共に学び合うことからプラネタリーヘルスの実践につなげたいと考えています。

#### ■ 地域の食と環境

- 食をとりまく地域の知・伝統知の探究
- 食選択と環境（生態環境・社会環境）

#### ■ 食を通じた地域創生

- 地域の食に関する実践例の収集
- 地域の実践に学ぶフィールドワーク



プラネタリーヘルスの実践へ  
地域に根ざした食を通じて  
人と地球との健康をつなぎなおす

活動内容 1. フィールドワークの実施（瀬戸内地域） 2. 研究会の開催 3. セミナーによる発信



### プラネタリーヘルスに関する研究会・セミナー

食と地域・環境への影響について、地域の食から考える「プラネタリーヘルス研究会」を開催し、多分野の研究者、学生とともに議論を深めていく。協力拠点として、大阪大学ユネスコチェアや、COI-NEXT『革新的低フードロス共創拠点』の課題5の教育プログラムを組み合わせ、セミナー等を通じて研究成果を発信する。

#### ■ テーマ

- ローカルな食から、プラネタリーヘルスを考える
- 食を「フードスケープ」からとらえ、より広く環境とのつながりを探求する  
\*フードスケープ：景観人類学を基とする「食をめぐる景観」研究という枠組み

#### 第1回研究会 ランチトーク

プラネタリーヘルスと食 - 『レジリエンス人類史』から話そう  
日時：2022年7月26日 12:15~13:15  
場所：オンライン開催  
司会：木村友美 大阪大学人間科学研究科  
スピーカー：モハーチ・ゲルゲイ 大阪大学人間科学研究科  
白石奈津子 大阪大学外国語学部

#### 瀬戸内未来会議

日時：2022年10月25日 11:00~16:00  
場所：杜の街グレース（岡山市）  
参加者：アルベール財団（モナコ公国）から2名  
岡山・香川の企業や自治体から約30人

#### 参考文献

- モハーチ・ゲルゲイ、木村友美 (2022) 「プラネタリーヘルスと食の変革——人と地球の健康から「バックループ」の実験へ」 稲村哲也、山極寿一、清水展、阿部健一編著『レジリエンス人類史』京都大学出版会、pp.419-434.
- Samuel Myers & Howard Frumkin (eds.) (2020) Planetary Health: Protecting Nature to Protect Ourselves. Washington, DC: Island Press
- 河合洋尚 (2020) 『景観人類学入門』風響社

### メンバー・パートナー

本プロジェクトは、3つの組織のパートナーとともに取り組みます

- 瀬戸内食研究会
- プラネタリーヘルス研究会
- 革新的低フードロス共創拠点

#### 【メンバー】

氏名	職名・所属	専門・担当
木村友美	大阪大学人間科学研究科・未来共創センター・講師	フィールド栄養学、公衆衛生学
河森正人	大阪大学人間科学研究科・地域創生論研究分野・教授	地域研究、地域創生論
モハーチゲルゲイ	大阪大学人間科学研究科・コンフリクトと共生・准教授	医療人類学
本田孝祐	大阪大学 生物工学国際交流センター・教授	生物工学、応用微生物学
菅原由美	大阪大学外国語学部・外国語専攻・教授	東南アジア史、食の歴史
白石奈津子	大阪大学外国語学部・外国語専攻・講師	農村経済、地域研究
木村麻子	(一社)全日本伝統文化後継者育成支援協会・代表理事	瀬戸内地域の振興コーディネーター
坂口真生	(一社)SETOUCHI RE-SORT・理事	エンカルプロモーション
石本恭子	川崎医療福祉大学・健康体育学科・准教授	運動指導、健康増進
森渚	国立健康栄養研究所・栄養疫学研究室・室長	栄養疫学

#### 【パートナー・協力団体】

- 全日本伝統文化後継者育成支援協会
- 産業バイオイニシアティブ研究部門  
@大阪大学先導的学際研究機構 (OTRI)
- 一般社団法人 SETOUCHI RE-SORT
- 生物工学国際交流センター
- 国立健康栄養研究所



### 瀬戸内フィールドワーク

瀬戸内地域における伝統食の共通点や特徴を探るフィールドワークを実施し、地域に暮らす高齢者の食にまつわる伝統知の聞き取り、および、地域創生分野で実践する地元団体の取り組みを調査する。

#### ■ キーワード: 伝統食、地産地消、地域創生、食と環境

#### ■ 聞き取りのテーマ

- 地産地消の取り組み（昔・今）
  - フードロスに関する取り組み、食の現代的課題
- 食を通じたツーリズム・地域おこし
- 人の食のいとなみと文化
  - 郷土食とは何か・共食、祭りの食（日常/非日常）・食多様性・健康

#### 2022年7月~10月に実施したフィールドワーク



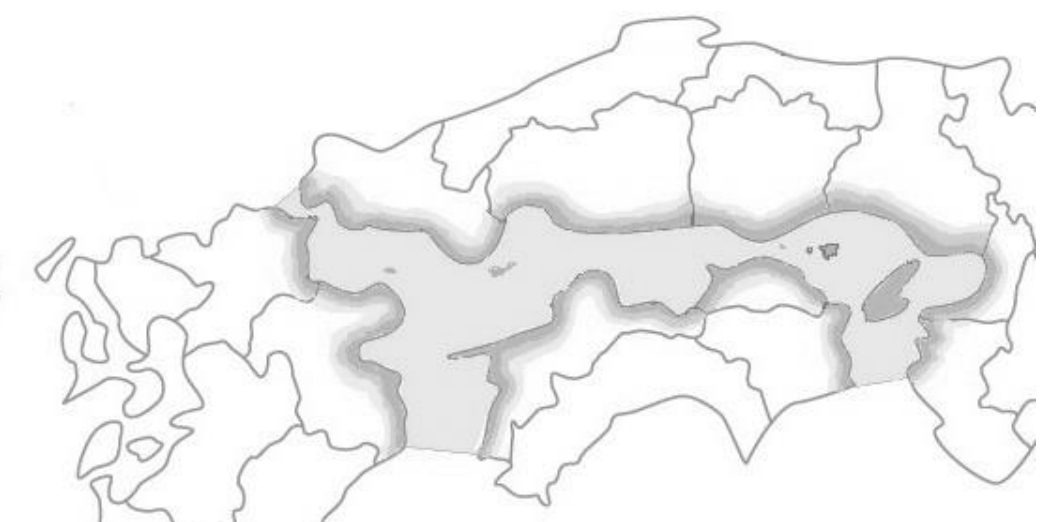
これまでに、教員・研究者4名、学生9名が参加しました

### 瀬戸内地域の自治体・観光関連団体へのアンケート調査

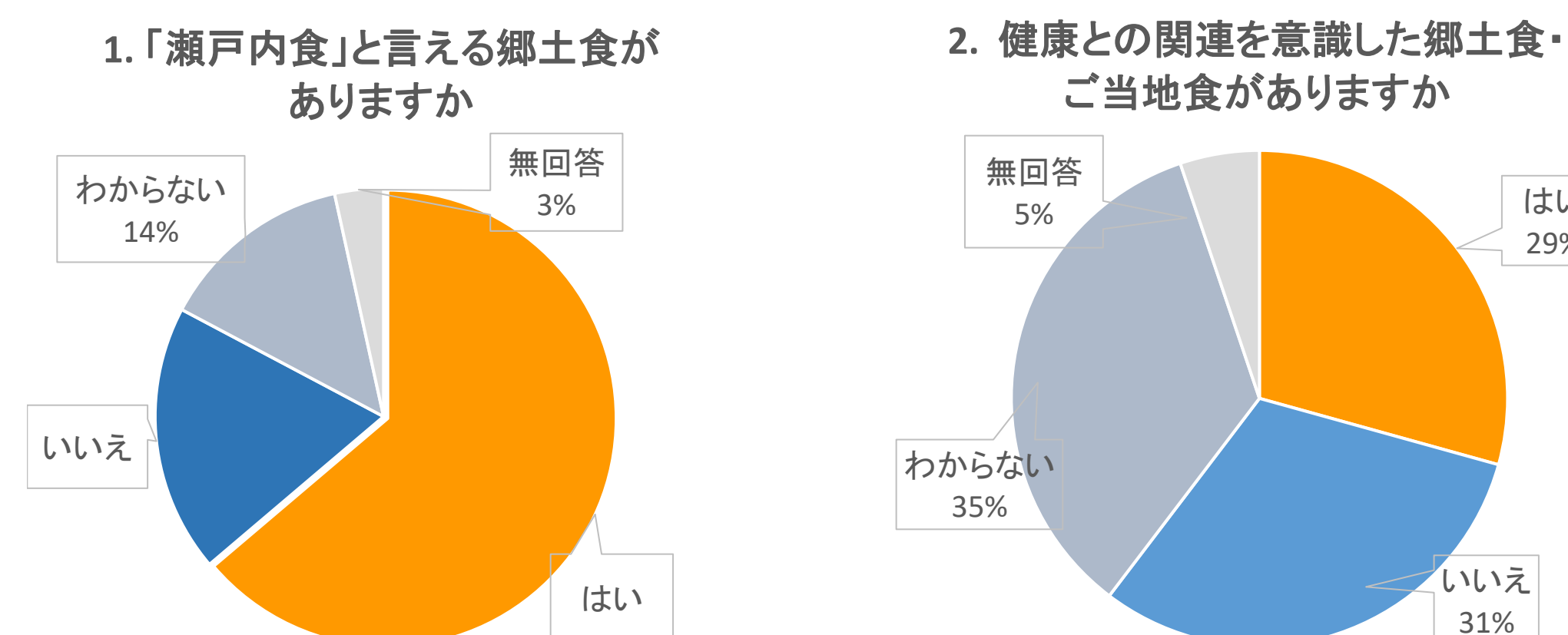
瀬戸内地域の自治体や観光に関わる団体を中心に、瀬戸内食に関するアンケート調査を行いました。この調査によって、瀬戸内地域の食の特徴や共通点を分析し、地域食の伝承や、地産地消の取り組み、食を通じた地域創生に貢献することを目指しています。

目的：瀬戸内沿岸地域における瀬戸内食に関する調査  
期間：2022年10月  
対象：瀬戸内海に接する市町村の関連団体 137 団体  
(自治体、観光協会、NPO、その他社団法人)  
方法：郵送アンケート調査  
内容：

- 地域固有の伝統的な郷土食やご当地食の開発状況など
- 健康との関連を意識した郷土食
- 下記項目の関心度、現状度の10段階調査
  - 食を通じた観光振興
  - 食の伝承
  - ご当地食の開発
  - 地産地消の取り組み
  - フードロスへの対応
  - 食を通じた健康増進
  - 「瀬戸内食」としてのブランディング



瀬戸内海沿岸の市町村			
府県	市	町	村
大阪府	8	3	0
兵庫県	14	1	0
和歌山県	3	4	0
岡山県	7	0	0
広島県	10	2	0
山口県	10	5	0
福岡県	3	3	0
大分県	10	1	1
愛媛県	10	4	0
香川県	7	5	0
徳島県	4	1	0
小計	86	29	1
合計			116



プロジェクトの詳細活動報告を発信しています！

